

練馬区消防団運営委員会事務局

(練馬区危機管理室危機管理課)

令和4年度第2回練馬区消防団運営委員会議事要録

1 日時

令和4年12月14日(水) 13時30分から13時50分まで

2 会場

練馬区役所本庁舎7階防災センター

3 委員長および委員の出欠状況

(1) 出席者

前川委員長、おじま委員、しばざき委員、福島委員、上野委員、國分委員、
つじ委員、酒井委員、井上委員、のむら委員、富岡委員、櫻井委員、三ツ井委員、
青柳委員、加藤委員、榎本委員

(2) 欠席者

小林委員

4 議事内容(要旨)

(1) 開会

【練馬区危機管理室長(司会進行)】

令和4年度第2回練馬区消防団運営委員会を開催する。

(2) 委員紹介

(委員の紹介)

(3) 委員長挨拶

(委員長の挨拶)

(4) 議事

【事務局（練馬消防署警防課長）】

(資料について説明)

本年8月29日、令和4年度第1回練馬区消防団運営委員会で審議した答申素案について、各委員の方々からいただいた意見を踏まえまして、どのように案を修正したか内容を説明。

【練馬区危機管理室長（司会進行）】

以上の説明に対し、ご質問、ご意見等は。

【委員】

答申の提言の内容については特に意義はありません。1点だけデジタル化の事について一言と申します。最近タブレットが各分団に配布されたが形式的なデジタル化やDXということはよくないと思う。改めて、導入の目的やその、またどのようなメリットがあるのかを一度しっかり整理をされたほうがいいのではないかと感じている。取組自体はすごく良いことだと思うが、各分団がタブレットをうまく活用できた場面がないので、その辺りも含めてしっかり周知されたほうがいいのではないかと思う。

【事務局（練馬消防署警防課長）】

タブレットは今、各種警戒や訓練の時に使用してくださいとお願いをしているが、まだなかなか扱う機会が少ないため、使い慣れていないという部分があると思う。実際の震災訓練や、先日の西の市の警戒などでも有効に活用できているので、これから各分団にも活用の範囲を広げていきたいと思う。

【委員】

私もこの答申については、おおむね前回の会議の内容を盛り込まれていると拝見させていただいた。内容については私も特に異論はない。一つ意見として申し上げると、先日、防災会や市民消火隊の軽可搬ポンプ操法大会等が各3消防署管轄で行われた。そこで消防少年団がD級ポンプの操法を披露していたのを私も拝見させていただき、良い取組だったと思う。私が消防少年団に所属していた約

30年近く前には、まだそういった活動はありませんでした。交通少年団とかボーイスカウトとか様々あると思うが、消防少年団だからできるという体験をいろいろしていただく中で、消防への関心や消防団に将来的に入っていただける人材の育成に繋げていただきたい。来年もぜひ消防少年団に参加を呼びかけていくことを要望する。

【練馬区危機管理室長（司会進行）】

軽可搬ポンプ操法大会等は区が開催させていただき、石神井地区と光が丘地区では消防少年団にも参加していただいた。消防署の方でどのような働きかけをされたか。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

光が丘消防少年団では従来から参加していることもあり、逆に、今回の開催についても消防少年団側の方から強い要望があった。消防少年団から、自発的に参加していただいたというのが現状である。

【事務局（石神井消防署警防課長）】

石神井消防少年団については、今年度、軽可搬ポンプ操法についてお話ししたところ、ぜひ参加したいということで、通常の活動とは別に訓練日を設けてやっていただいた。結果として4組が参加して、消火活動に非常に意識を持たれ、こういう訓練をもっと増やして実施したいという意見があった。

【練馬区危機管理室長（司会進行）】

今後の消防団を支えていくのは、若い頃からそのような機会を得て、培っていくということが非常に大事だと思う。地域の防災力の向上には、これからの若い人たちがしっかり防災を意識していただけると、我々も非常に助かる。

これをもって議事を終了させていただく。

(5) 代表消防団長挨拶

【練馬消防団長】

消防団代表挨拶

(6) 事務連絡

【事務局（練馬消防署）】

事務連絡

(7) 閉会

【練馬区危機管理室長】

以上で本日の消防団運営委員会を終了する。